

根羽村教育委員会 令和7年12月定例会会議録

- 会議日時 令和7年12月17日(水)午後4時00分
- 会議場所 根羽村役場 第1、第2会議室
- 出席者 教育長：柳瀬賢司、教育長職務代理者：石原久明、委員：片桐光代、石原八重子、事務局：原田喜理子(子育て支援係長兼社会教育係長)、石森智(総務学校教育係長)
(欠席者 委員：小澤寛樹)

1. 開会

2. 議事事項 なし

3. 協議事項

(1) 学びの村づくり推進体制について

(教育長) (資料に沿って説明) 先日の議会で説明済みですが、学びの村づくりを村の柱の一つの施策として推進していきます。今まではねばのもりが教育の中間支援組織に入ってもらっていましたが、来年度からは学びの支援センター長に入ってもらって、教育長と一緒に推進してもらう形を考えています。人物は時期がきたら教育委員の皆さんにも共有しますが、今はまだお話することができません。放課後こども教室と村営塾げんは今と同じ形でやっていきます。スクールコミュニティを立ち上げ、学校を中心に地域を作っていくことを考えています。スクールコミュニティは阿智村でもやっている取組みです。具体的には、ゲストティチャーによる学校訪問を考えていますが、教頭が前の学校でやっていた様です。他には村人による授業参加を考えていて、前に一度傾聴ボランティアの方に授業に入ってくださいました。1月13日にやるので皆さんにも参加いただきたいと思っています。授業は4年生の道徳、8年生の理科です。今回は傾聴ボランティアと教育委員会で参加するので、2科目では少ないと思って、もう1、2科目校長にお願いしています。1時間目にやる予定です。皆さん、どの科目に参加したいですか。

(委員) 理科に出たいです。

(委員) 道徳に出たいです。

(教育長) 先日は道徳の授業で「泣いた赤鬼」をやっていました。

(教育長) 部活動の地域展開もセンター長と事務局が中心でやっていきます。里山は子どもたちが根羽での経験を中心に探究心を養っていくことを考えています。

(委員) 学びの支援センターは中間支援組織からの移行ですか。

(教育長) ねばのもりがやっていた部分を担っていただきます。来年度はねばのもりが伴走しながらやっていきます。ねばのもりはスキルがあるので、コンテンツを提供してもらったり、側方支援をしていただきます。

(委員) 村営塾はどうなりますか。

(教育長) 塾長が自己調整学習を方針としてやっていますが、男性だけだと年頃の子どもは聞きづらかったり難しい部分もあるので、女性スタッフに週に1回入ってもらっています。

(委員) 自己調整学習は子どもにはなかなか難しいので、サポートしてあげてほしいですね。

(委員) 根羽から飯田の塾に通っている子どももいると聞くので、それはどうなのかなと思ってます。

(教育長) 2階は勉強中心、1階は会話をしながらやっているという感じです。お考えがあって、飯田に通っているということもあるかもしれませんね。

(委員) 学力をつけたいという思いもあるのかもしれないね。

(教育長) 根羽は自ら進んで学ぶということを大事にしています。学習環境を提供して誰でも来てくださいというスタイルでやってます。

(委員) スタイルを変えても良いのかもしれませんがね。

(教育長) スタイルを変えるとなるとマンパワーが必要になります。方針について塾長と話していますが、保護者からは土日開いて、夜9時までやってもらっていることに感謝はしている様子です。

(委員) 来年はセンター長が来て、村営塾も再度話し合いができれば良いと思っています。

(2) 部活動の地域展開について

(教育長) 部活動の地域展開について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) (資料に沿って説明) 教育委員会では今年度5月から根羽村部活動地域展開に伴う協議会を、職務代理を会長として、今までに3回開催しています。また、根羽学園の4年生から9年生とその保護者を対象にアンケート調査を行いました。それらの中から「根羽村らしい地域クラブ活動の推進と部活動の地域展開」を進めていくためには「根羽村の文化・スポーツ活動を推進」するものであること、「子どもたちの夢の実現(やりたい)を応援」するものであること、「根羽学園の部活動の地域展開を実施」していくという方針がまとまった所です。長野県教育委員会では令和8年度末までに休日部活動の地域展開の実施を目標としており、根羽村でも令和8年度末までに休日部活動の地域展開を目指しています。具体的な事例をこれから検討していく中で、協議会でも阿智村の「チャレンジゆう Achi」の事例が出されました。別紙カラーで配布させていただいておりますが、「チャレンジゆう Achi」のチラシとなります。阿智村ではNPO法人を立ち上げて運営しています。部活動だけでなく、子どもから大人までが参加できるイベントやスポーツ、文化を体験できる社会教育の場となっています。阿智中クラブで部活動の地域展開となっている部分もあります。どのような形で進めるのが良いのか現在検討中ですが、NPO法人「チャレンジゆう Achi」の副理事長をお招きして具体的な姿を検討しています。今後は地域クラブ活動推進ガイドラインの作成や県の信州地域クラブ活動認定ガイドラインに沿った根羽村の地域クラブ活動認定ガイドラインを作成し、学校や地域と連携しながら、まずは休日部活動の地域展開を目指していく予定です。

(教育長) ゴールは、個人的には、阿智のように、色々な講座を用意して、村民の方に選んでいただければ良いかなと思っています。協議会の中でしっかり検討しながらやっていきたいと思っています。ご意見ご質問はありますか。

(委員全員特になし)

(委員) 協議会でアンケートを取りながらやっていますが、副理事長に来ていただいて色々教えてもらっています。

(委員) 阿智を参考にしていただくと良いと思いました。

(教育長) 阿智に参画するという方法もあります。議会では、補助を出してあげると良いという話が出ました。まず、村の方向性を決める必要があると思っています。根羽は根羽でやっていきたいという気持ちもあります。ダンスクラブなど色々な活動がありますし。

(委員) 根羽だけでやっていく場合、阿智と同じぐらいのクラブ数を確保するのは難しいかもしれませんね。

(教育長) 例えば「街道ウォークを楽しむ」の講座で根羽火山のことを取り扱ってもらうということもできます。加入することが良いのかはまだ判断がついていませんが。

(事務局) 8年度末までに今ある2つの部活を休日は地域展開をするのが当面の目標です。音楽室を休日に開けるのにセキュリティの問題があったりということもあります。

(教育長) 小学校棟との間にドアをつけるなどの方法も考えています。

(委員) 指導者がいなかったらどうしますか。

(事務局) 教員の兼職も可能です。指導料を村が払うことも可能です。先生が協力してくれれば施設管理もしやすいです。こちらからお願いすることはなかなかできませんが。

(教育長) 先生が異動になると継続されないの、それは難しいと考えています。

(事務局) 指導者が見つかったとしても土日は本業があるという場合もありますしね。

(委員) また協議会で色々話し合いをしていく必要がありますね。

(教育長) 協議会での話し合いも大事ですが、教育委員会の中で何度か話し合いをする必要がありますね。協議会に保護者の方に何度も来ていただくのも負担です。

(3) 令和8年度海外研修について

(教育長) (資料に沿って説明) 海外研修ですが、日程は資料のとおりです。金額については見積書のとおりです。子供11人、大人5人です。5人に教育委員さんの枠はありません。この内容で進めていきたいと考えています。

(委員) 予算の確保をお願いします。

4. 報告連絡事項

(1) 村人の授業参加について

(教育長) こちらは先ほどお話ししたとおりです。1月13日によろしくをお願いします。

(2) 根羽学園、保育所の様子について

(教育長) (資料に沿って説明) (気になる子どもの姿、非公開)

(3) こども誰でも通園制度について

(教育長) (資料に沿って説明) 根羽では保育所を対象に令和8年度から始まります。子どもを預かって、家庭の安定を図ることが主な目的です。根羽でも条例を定めました。国も予算付をしてくれています。詳細は資料をご覧ください。詳細は資料をご覧ください。

5. その他について

(1) その他について

(教育長) こちらからは以上となりますが、他に全体を通して何かございますか。

(委員全員なし)

(教育長) 最後に11月分の会議録の署名をお願いします。

(11月定例会出席委員全員が内容を確認し、署名)

(2) 1月定例会教育委員会開催日 1月14日(水) 午後3時30分

6. 閉会

午後5時00分閉会

教育長・教育委員 署名